

2024 年度
事業計画書

自：2024 年 4 月 1 日

至：2025 年 3 月 31 日

公益財団法人古河記念基金

東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号

常盤橋タワー（古河三水会内）

I. 総括的な方針

当基金は、1965年（昭和40年）11月に財団法人として設立され、以来古河系主要各社の支援と協力により基本財産の拡充が図られ今日に至っている。

2011年（平成23年）11月には法律改正に伴う公益財団法人への移行認定を受け、同月に公益財団法人への変更登記をした。

事業としては、従来同様育英事業（奨学金、研究助成）を行う。

奨学金事業として、理工科系専攻の日本人学生および外国人留学生に対する奨学金給付を行う。対象者は、学業および人物ともに優秀かつ健康であるが学資の支弁が困難と認められる者とする。

また、研究助成事業として、理工科に関する研究機関及び研究者に対し研究費助成を行う。

II. 奨学金事業

当基金の経常収益は基本財産運用益と寄付金により賄われており、現状の水準は概ね25～27百万円程度であり、この水準に見合う奨学金支給人数は、55名前後である。

2023年度は、計画54名（指定大学推薦14名、インターネット募集40名）で、採用も同数の54名であった。

2024年度は外国人留学生を含めて奨学生54名、奨学金給付額24,540千円とする。2023年度実績見込みと比較すると、人数は増減なし、金額は540千円増となる。これは、外国人留学生の9月卒業等、2023年度の特殊事情に起因する反動増であり、2024年度の奨学給付金は通常の水準に戻るものである。

2023年度のアンケートによれば、54名のうち、2024年3月までに卒業・支給期間満了が10名であり、残り44名（うち、外国人留学生2名）が2024年度も支給継続を希望している。

2024年度の新規採用者については、2023年度と同様、日本人学生として50名を維持すべく、指定大学推薦日本人枠3名の外、インターネット募集で5名の採用を計画した。指定大学推薦外国人留学生は例年通り2名とする。

1. 指定大学推薦による奨学金給付事業

指定5大学（東京大学、東京工業大学、横浜国立大学、早稲田大学、慶應義塾大学）の理工科系専攻の学生で、学業および人物ともに優秀かつ健康であるが学資の支弁が困難と認められる者で、各大学の推薦を受けた者を対象とする。

1. 1 日本人学生

指定国立3大学（東京大学、東京工業大学、横浜国立大学）に対し学部2年生以上または大学院の学生を各1名、合計3名の新規推薦を募集する。継続7名と合わせ、10名に対し給付を行う。

- 支給月額および支給期間

	支給月額	支給期間
自宅通学者	30,000 円	正規の最短修業期間で 最長 6 年間
自宅外通学者	35,000 円	

1. 2 外国人留学生

指定5大学の理工科系専攻の学部3年生以上または大学院の学生を対象とするが、奨学金総支給額を抑えるため、2013年度（平成25年度）から新規推薦募集を早稲田大学、慶應義塾大学の2大学に各1名としており、2024年度の新規推薦募集も同様とする。継続2名と合わせ、4名に対し給付を行う。

- 支給月額および支給期間

支給月額	支給期間
80,000 円	正規の最短修業期間で 最長 2 年間

2. インターネット募集による奨学金給付事業

日本の4年制大学の理工科系専攻の学部2年生以上または大学院に在籍する日本人学生で、学業および人物ともに優秀かつ健康であるが学資の支弁が困難と認められる者を対象とする。なお、金属その他資源関係専攻の学生を優先する。

2016年度の募集から、インターネットの「一般法人・公益法人等情報公開共同サイト」に募集要項を掲示し、広く一般から募集している。

新規採用者は5名とし、継続35名と合わせ、40名に対し給付を行う。

● 支給月額および支給期間

	支給月額	支給期間
国、公立在学者で自宅通学者	30,000 円	正規の最短修業期間で 最長 6 年間
国、公立在学者で自宅外通学者	35,000 円	
私立在学者で自宅通学者	35,000 円	
私立在学者で自宅外通学者	40,000 円	

3. 奨学金給付事業別の支給計画明細表

(単位：人、千円)

区分			月額	2023年度見込		同 計画		同 計画比		2024年度計画		対前年度見込比		
				人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	
指定大学推薦	日本人	新規	自宅	30	0	0	1	360	▲ 1	▲ 360	1	360	1	360
			自宅外	35	3	1,260	2	840	1	420	2	840	▲ 1	▲ 420
		継続	自宅	30	3	1,080	4	1,440	▲ 1	▲ 360	2	720	▲ 1	▲ 360
			自宅外	35	3	1,260	3	1,260	0	0	5	2,100	2	840
		日本人計			9	3,600	10	3,900	▲ 1	▲ 300	10	4,020	1	420
	外国人	新規		80	2	1,920	2	1,920	0	0	2	1,920	0	0
		継続		80	1.50	1,440	2	1,920	0	▲ 480	2	1,920	0	480
		外国人計			4	3,360	4	3,840	0	▲ 480	4	3,840	0	480
		大学推薦合計			13	6,960	14	7,740	▲ 1	▲ 780	14	7,860	1	900
	インターネット募集	新規	国公立	自宅	30	3	1,080	1	360	2	720	1	360	▲ 2
自宅外				35	6	2,520	8	3,360	▲ 2	▲ 840	2	840	▲ 4	▲ 1,680
私立			自宅	35	3	1,260	3	1,260	0	0	1	420	▲ 2	▲ 840
			自宅外	40	3	1,440	2	960	1	480	1	480	▲ 2	▲ 960
新規計			15	6,300	14	5,940	1	360	5	2,100	▲ 10	▲ 4,200		
継続		国公立	自宅	30	4	1,440	3	1,080	1	360	6	2,160	2	720
			自宅外	35	13	5,460	13	5,460	0	0	15	6,300	2	840
		私立	自宅	35	6	2,520	7	2,940	▲ 1	▲ 420	10	4,200	4	1,680
			自宅外	40	2.75	1,320	3	1,440	0	▲ 120	4	1,920	1	600
		継続計			26	10,740	26	10,920	0	▲ 180	35	14,580	9	3,840
インターネット合計			41	17,040	40	16,860	1	180	40	16,680	▲ 1	▲ 360		
合計			54	24,000	54	24,600	0	▲ 600	54	24,540	0	540		

※ 「2023 年度見込」

- ・外国人継続の 1 名は、2023 年 9 月で卒業
- ・私立自宅外のうち、1 名は 2023 年 8 月から自宅外→自宅、1 名は 2023 年 11 月から自宅→自宅外に変更
- ・私立自宅のうち 1 名は、10 月～12 月が休学（病気療養）による支給停止

※ 「2023 年度計画」新規の国・公立/私立、自宅/自宅外的人数は、継続における人数比をもとに想定した。

4. その他付随行事

奨学金給付事業に付随して、以下の行事を行う。

4. 1 奨学金支給決定書交付会

2024年6月に開催する。

4. 2 交流誌の発行

2024年9月に第41号、12月に第42号を発行する。

4. 3 奨学生工場見学会

2024年8月に実施する。

III. 研究助成事業

2025年2月に、研究費助成として以下のとおり支給する。

早稲田大学 理工学術院	500 千円 (1 名)
慶應義塾大学 理工学部	500 千円 (1 名)

IV. その他事業 (その他当基金の目的を達成するために必要な事業について)

2024年度も、前記の育英事業を重点的に推進するため、その他事業については計画していない。

以 上

2024年度 収 支 予 算 書

(2023年度予算・決算予想対比)

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

公益財団法人古河記念基金

(単位:円)

科 目	2024年度(予算)				2023年度 (予算)	2023年度 予算比増減	2023年度 (決算予想)	2023年度 決算予想比 増減	備 考
	公 1	公 2	法人会計	合 計					
	奨学金事業	研究助成事業							
A	B	C	D=A+B+C	E	D-E	F	D-F		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	7,192,798	322,066	3,603,063	11,117,927	11,254,433	▲ 136,506	11,117,920	7	例年どおりの 水準で計画
基本財産受取利息	7,192,798	322,066	3,603,063	11,117,927	11,254,433	▲ 136,506	11,117,920	7	
受取寄付金	15,344,000	56,000	1,000,000	16,400,000	16,400,000	0	15,830,000	570,000	
受取寄付金(三水会)	14,000,000	0	1,000,000	15,000,000	15,000,000	0	15,000,000	0	
受取寄付金(個人等)	1,344,000	56,000		1,400,000	1,400,000	0	830,000	570,000	
雑収益	158	19	15	193	193	0	201	▲ 8	
受取利息	158	19	15	193	193	0	201	▲ 8	
その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	22,536,956	378,085	4,603,078	27,518,120	27,654,626	▲ 136,506	26,948,121	569,999	
(2) 経常費用									
事業費	26,024,458	1,155,858	0	27,180,316	27,240,312	▲ 59,996	26,344,193	836,123	
役員報酬(選考委員会)	103,158	103,158	0	206,316	206,312	4	206,316	0	
支払奨学給付金	24,540,000			24,540,000	24,600,000	▲ 60,000	24,000,000	540,000	
支払研究助成金		1,000,000		1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	0	
交流誌発行費	5,000			5,000	5,000	0	2,500	2,500	
奨学生工場見学会費	560,000			560,000	560,000	0	387,962	172,038	
奨学金交付会費	342,000			342,000	342,000	0	165,116	176,884	
会議費	198,000	22,000		220,000	220,000	0	266,425	▲ 46,425	
旅費交通費	2,250	250		2,500	2,500	0	750	1,750	
通信運搬費	45,000	5,000		50,000	50,000	0	32,589	17,411	
消耗品費	30,150	3,350		33,500	33,500	0	17,793	15,708	
雑費	198,900	22,100		221,000	221,000	0	264,743	▲ 43,743	
管理費	0	0	622,316	622,316	622,312	4	820,972	▲ 198,656	
役員報酬(評議員会)			206,316	206,316	206,312	4	361,053	▲ 154,737	
会議費			220,000	220,000	220,000	0	266,425	▲ 46,425	
旅費交通費			2,500	2,500	2,500	0	750	1,750	
通信運搬費			50,000	50,000	50,000	0	32,589	17,411	
消耗品費			33,500	33,500	33,500	0	17,793	15,708	
雑費			110,000	110,000	110,000	0	142,362	▲ 32,362	
経常費用計	26,024,458	1,155,858	622,316	27,802,632	27,862,624	▲ 59,992	27,165,165	637,468	
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 3,487,502	▲ 777,773	3,980,762	▲ 284,512	▲ 207,998	▲ 76,514	▲ 217,044	▲ 67,469	
基本財産評価損益等				0	0	0	0	0	
特定資産評価損益等				0	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等				0	0	0	0	0	
評価損益等計				0	0	0	0	0	
当期経常増減額				▲ 284,512	▲ 207,998	▲ 76,514	▲ 217,044	▲ 67,469	
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益				0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用				0	0	0	0	0	
当期経常外増減額				0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額				▲ 284,512	▲ 207,998	▲ 76,514	▲ 217,044	▲ 67,469	
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金				0	0	0	0	0	